

自分たちにもできる

「当たり前のごとく」を行い続けて
SDGsへの取組

株式会社ソーイング竹内(多可町)

多可郡多可町中区糎屋90

TEL・0795-3210018

FAX・0795-3213723

URL <https://www.sewing-takeuchi.co.jp/>

縫製加工業を手掛ける株式会社ソーイング竹内は、1982年に創業。SDGs(持続可能な開発目標)に賛同され、目標達成に向けて活動するなど、地域産業の活性化、職場環境の改善、地域社会への貢献に取り組みられています。代表取締役の竹内裕児さん、営業部の笹倉清明さんに話を伺いました。

社会貢献が人を育て、
会社を育てる

職場環境づくりのため、社内を整理整頓し、生地などの無駄をなくしていく取組から、清掃活動など社会貢献活動が生まれました。

また、お得意様の提案で環境にやさしいエコバッグの作成に携わり、当時環境省のパイロット事業であった「エコアクション21」(*)を取得したこと



により、会社として大きく変化してきました。目的意識が芽生え、会社の経営理念や社訓ができ、社会貢献に取り組むことが職場環境づくりに通じていることを実感しました。

現在では「地域の清掃活動」に加え、「地域との『災害時における事業所の施設利用に関する協定』の締結」「お裁縫教室」「廃棄生地のリサイクル」等の社会貢献を行っています。

社会貢献を始めた当初は社員の中にとまどいなどがあつたように思いますが、今

では社員からの提案などもあり、率先して活動しています。



経営理念を掲げる竹内社長

人に優しく己に厳しく

経営理念の「人に優しく己に厳しく」は、「強い者には強く弱い者には優しく」という考えのもと、人としてどう成長できるかということを大切にしています。

今回、新型コロナウイルス感染症の影響で、市場では深刻なマスク不足に陥りました。社会貢献の一環として一人でも多くの方に安全安心なマスクを届けたいと考え、布製マスクの生産を開始するとともに、地域の高齢者へ配るため備蓄していた不織布マスクを町へ寄贈しました。また、子ども用サイズのマスク不足解消の要望があり、地域の未就学児を対象に子ども用サイズの布製マスクを町に寄贈しました。社会の状況や市場の要望に応える中で、多くの反響があり、その後思いがけず多数の注文をいただくことになりました。社会貢献がビジネスに

つながったと言えます。

チャレンジすることが
飛躍につながる

繊維産業が衰退し、この地域の活気もなくなっています。当社ではこれらの地域を担っていく若者を大切にしていかなければならないと考えています。そのため若者がチャレンジしたことを経験豊富な先輩がリカバリできるような組織を目指しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の制限はありますが、社員が目標を持ってチャレンジし、形にしていけることが、モチベーション維持につながり、人と会社の飛躍につながっています。

これからも様々な活動を通して社会に貢献できる「人」を育て、地域とともに成長できる企業を目指します。



※環境省が策定した日本独自の環境経営システムで企業が環境への取組を自主的に行うための方法を定めています。第三者機関が認証・登録し、更新には審査が必要です。